

「七尾の経済再生を目指して」

今春、学校を卒業し、七尾・鹿島に就職した新社会人の門出を祝う「フレッシュマンフェスタ」が催されました。今年には262名の若者が七尾・鹿島地区の企業に就職しました。5年前に比べると約70名の減少です。「地元で就職したい」との希望が多いのですが、地元雇用が増えないのはやはり地元経済の回復が遅れているのでしょうか。今年の市内の新成人対象者数800人からすると、いかにも少ない数です。

事業所統計調査による最近10年間の雇用状況では、七尾・鹿島地区内の雇用労働者数は約5,000人減り、事業所数が約900ヶ所減っています。また、年間の商品販売額（457億円）、製造品出荷額（380億円）も減少し、地域活動が低迷している状況です。



市長 平文 さん
七尾市元計もあり、人口減少に歯止めをかけることが行政の最大の課題であるといえます。

人口を増やすためには、まず、地域内に若者が定着できるように働ける場を増やすことで、そのためには地域経済の活性化が急務です。地域の持続可能な経済基盤づくりは、地域が自立できる状況作りでもあります。地消地産（地元で消費するものは地元で生産する）、外貨獲得（外へお金を outsides、外からお金を稼ぐ）、新規産業の育成や企業誘致等も当然力を入れなければなりません。

地域経済再生戦略会議を産業界や学識者の方々に参加をいただいて立ち上げ、地域全体の経営戦略に取り組んでいきます。七尾には素晴らしい自然環境や文化、人的資源、観光資源等がたくさんあります。人と緑と海が輝く七尾を更に魅力づけ、七尾ブランドに作りあげ、全国発信していきたい。

七尾オリジナルの経済再生を目指し、雇用の創出を図っていききたいと思っています。意欲ある市民の参加をお待ちしています。

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

みなさんの提言やアイデアを聞かせてください！

6月前半の開催日程

6月14日（火） 15:00～17:00

会場 本庁 男女参画まちづくり課
公務により、中止になる場合があります。

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課 ☎ 53 1112

「市長への声」

読ませていただいております。

【お寄せいただいた「声」】

修学旅行はどうなるの？

七尾市の財政状況がきびしいと聞いたのですが、中学校の修学旅行はどうなるのでしょうか。

中学生生活で一番楽しみにしている生徒も多いと思いますが、日程が短縮されたり、行先が近くなったりするのではないかと不安です。

中学生から

回答

中学生のみなさんがとても楽しみにしている修学旅行です。日程は1泊2日ではなく、2泊3日を実施するはず。詳しいコースや予定な

どについては、通っている学校の先生に尋ねてください。

市としては、財政的に余裕がある状態ではありませんが、その中でも、中学生や小学生のみなさんの学習が少しでも良くなるよう、できるだけ応援をします。

修学旅行については、今年度も中学校のみなさんに市から補助金を出して助成していきます。修学旅行は、友情を深め、視野を広げる上でとても有意義な学校行事です。たくさん思い出しを作ってきてください。

七尾の未来を担うみなさんの成長を第一に考えて、今後色々な事業をすすめていく予定です。

☎男女参画まちづくり課

☎ 53 1112